

入学式の「学校長式辞」(後編)です。

前号(第206号)でお知らせしたとおり、4月7日(金)の「茨城県立並木中等教育学校 第10回入学式」における「学校長式辞」(全文)の後編をお届けします。

◆4月7日の入学式での「学校長式辞」—後編—◆ テーマ:「モネに学ぶ2」

- **1つ目は、「探究する心」**を持って欲しいということです。モネが、同じ場所で移りゆく光の変化に着目して連作を残したように、物事を深く見つめ探究して欲しいと思います。幸いにも、本校は、今年度、文部科学省の**スーパーサイエンスハイスクールの2期目5年間**の指定を受けました。「科学教育」はもちろんですが、全ての教科で「**アクティブ・ラーニング**」を推進し、「探究する心」を育てていきますので、皆さんは、本校の授業と行事に一生懸命取り組んでください。
- **2つ目は、「積極的に学習して欲しい」**ということです。モネは、一生印象派の技法を追求し続けました。最晩年には、白内障による視力低下と戦いながらも、絵筆を持ち続け、現代の抽象画のような作品も残しています。皆さんは、今日、本格的な**学習のスタートライン**に立っています。先生に指示されたことだけでなく、自分から進んで学習してください。私は、そのような人を「**アクティブラーナー**」と呼んでいます。日本語では、「**能動的学習者**」です。能動的に、積極的に学ぶと、毎日が明るく楽しく充実します。そして、「アクティブラーナー」ならば、**AI**(人工知能)の発達により大きく変化する近未来にあっても、柔軟に対応していけると、私は信じています。
- **3つ目は、「夢」**を持って欲しいということです。モネの夢は移りゆく「光を描くこと」でした。皆さんが、まず描く夢は、「小さな夢」でもいいと思います。身近な夢を設けて、並木中等生として一步一步着実に歩んでください。皆さんには、「**充分な時間**」と「**豊かな空間**」があります。そして、6年後には、日本の未来や世界の未来を支えるような「大きな夢」を語れる若者に成長して欲しいと思っています。我々は、皆さんの**夢の実現**のために、全力を尽くします。一緒に、頑張りましょう。
- 結びに、保護者の皆様に申し上げます。私ども教職員は、本日から、新入生の皆さんの未来のために、**一生懸命**努力いたします。皆様の中には、並木中等の勉強について行けるだろうかといった不安をお持ちの方もいらっしゃると思いますが、これまでの本校の進学実績が示しているように、本校には、たいへん優秀な教職員がそろっております。また、一人一人の生徒に対して、親身になって**丁寧**に対応して参りますので、どうぞ勉強のことは、安心して学校にお任せください。
- 新入生の皆さんの毎日が、**夢**のある充実したものとなりますことを心からお祈りして、式辞といたします。

平成29年4月7日 茨城県立並木中等教育学校 校長 中島博司

